



ちゅうスポだより

「ちゅうスポ」は府中市スポーツ推進委員の略称です

発行
府中市(スポーツタウン推進課)
府中市寿町一丁目5番地
042-335-4499
編集
府中市スポーツ推進委員会

内部研修報告 デフリンピック見学

今から100年前の1924年、フランスのパリろう者スポーツ会長であったユージン・ルーベン＝アルカイスとベルギーの活動家アントワヌ・ドレスという2人のろう者によって創設されました。耳の聞こえない人が「世界でつながり、能力を発揮し、社会に認められる場を作る」という目的で創設されたのが起源になります。スポーツの国際大会としては、オリンピックに次ぐ長い歴史を持つのがデフリンピックです。

そんな歴史ある大会が、2025年に東京で記念すべき100周年大会が開催されました。府中市では、郷土の森総合体育館でレスリング競技が行われました。

11月24日に男子レスリング・フリースタイル競技を観戦しました。会場は国際大会らしい華やかさで、各国の国旗、スポットライトに照らされた2面のレスリングコート、さらに聴覚障害者が状況を把握できるよう観客席にディスプレイが設置されるなど、細やかな工夫がされていました。

試合は本当に手に汗握る熱戦ばかりで、特に決勝戦では選手たちが本気でぶつかりあい、時にはケガをしながらも試合を続ける選手の姿に胸を打たれました。そんな熱い戦いに観客も応えるように手話でエールを送り、試合を盛り上げていました。

音のない世界で繰り広げられる競技の迫力に、選手のみならず観客も自然と集中力を高めて観戦できるのがデフリンピックの面白さの一つでした。(佐伯紀亜)



府中市ボッチャ大会 報告

令和7年12月6日に府中市ボッチャ大会が、郷土の森総合体育館にて開催されました。

7回目となる本大会には、32チーム200名の皆様に参加いただきました。本大会は参加者間の交流を主目的としていますが、本大会の上位2チームは「東京都市町村ボッチャ大会」に府中市代表としての参加権を獲得できるため、小学生チームからご年配のチームまで熱い戦いが展開されました。

私は運営協力者(審判)として初めて参加させていただきました。審判としてスムーズな試合進行ができることを目標とし、事前に実施された審判研修会にて細部要領等を再確認して臨みました。大会当日、会場は参加権獲得を目指す緊張感はあるものの、笑顔で和やかな試合が展開されました。

ボッチャの最上位の大会はパラリンピックです。2020東京大会では日本代表の大躍進で盛り上がりました。



ボッチャは障がい者スポーツとして考案されたものですが、近年では障がいの有無を問わず、幅広い年齢層の参加が認められており、各地域において簡単に実施可能なスポーツ種目として普及しています。

府中市にあって本大会をはじめ、ボッチャ教室やボッチャ体験会を企画、実施しています。また、各地区の文化センターでもボッチャを体験できる機会がありますので、ぜひ参加してみてください。(峰和男)

第50回府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会 ―障害のある方とともに― 報告

令和7年11月1日(土)、府中市民陸上競技場で開催されました。前日から明け方までの豪雨でグラウンドコンディションが心配されましたが、無事に全日程を実施することができました。当日は寒くもなく暑くもない、穏やかな気候に恵まれた大会となりました。

記念すべき第50回となる今大会には、732名もの方々にご参加いただきました。また、障害のある方や施設職員の皆様に加え、125名の協力者の方々にも運営を支えていただきながら、共にスポーツを楽しみました。実施種目は、玉入れ、ダンス、車いす競争、景品釣り競争、パン引き競争、リレーの6種で、ボッチャ体験会も開催されました。

今年初めて導入された「ダンス」は、参加者全員が楽しめる種目となりました。特に、聴覚に障害のある方の配慮として、ダンスの動作をパネルで示す工夫を凝らし、誰もが参加しやすい環境づくりが見られました。

スポーツ推進委員は、招集係や用具係を担当するとともに、11時から13時まで実施されたボッチャ体験会も担当しました。府中市スカウト育成連絡協議会の皆様にも審判のお手伝いをいただき、参加者に楽しく体験していただけたものと感じます。

記念すべき第50回大会は、多くの皆様のご協力のもと、無事に終了いたしました。来年の大会も、皆様が楽しめる軽スポーツ大会となることを楽しみにしています。(井上恵一)



◇委員活動報告◇ 新町文化センター圏域コミュニティ協議会 スポーツ部会

新町文化センターは、地域住民の学び・交流・健康づくりの拠点として、多彩な活動が日常的に行われています。さらに、センターでは美術工芸、音楽、舞踊、生活文化、軽スポーツなど合わせて22の自主グループが活動しており、地域の文化振興、世代間交流、住民の生きがいづくりに大きく寄与しています。

新町文化センター圏域コミュニティ協議会には、文化・伝承・ふれあい・調整・スポーツの5部会が設けられ、47名の常任理事のもと、年間を通して多くの事業が実施されています。

年間事業の中でも、スポーツ部会が中心となって実施するイベントは、地域の健康促進に欠かせないものです。栄町体育館を会場にした「ファミリースポーツの集い」はその一つで、年齢や運動経験を問わず参加できる種目を用意し、家族で楽しめる工夫が凝らされています。ボール遊び、ターゲットゲーム、軽運動、親子協力型のチャレンジ種目など、親しみやすさと安全性を両立した内容で構成され、参加者の笑顔があふれる人気の行事です。これに加えて、地域の子供たちを対象としたスポーツ体験会やハイキング会など、住民の体力向上と交流の機会となる事業も行われています。

スポーツ推進委員2名は、スポーツ関連事業の企画、準備、当日の運営、安全管理、参加者フォローなど、現場の実務を幅広く担い、イベントを成功に導く重要な役割を果たしています。

今後も住民が安心して参加できる場をつくり、スポーツを通して新町地区の活力をさらに高めていきたいと考えています。

(下島博美)



第66回 全国スポーツ推進委員研究協議会「長野大会」参加報告

令和7年11月13日・14日の2日間、「第66回全国スポーツ推進委員研究協議会長野大会」が開催されました。

大会テーマは「行こう！地域スポーツの頂へ ～日本のアルプス信州からスポーツのつながりを全国へ～」。全体会は長野市のビッグハットで、分科会はビッグハットのほか、千曲市上山田文化会館、須坂市文化会館を会場に行われ、全国から多くのスポーツ推進委員が集いました。

開会式では、長野県高山村がスイス・クリエンス村との交流をきっかけに伝わったアルプスホルンの演奏と、長野商業高校チアリーディング部「パンサーズ」による迫力ある演技が披露され、会場は大きな歓声に包まれました。自然と文化、若い力が融合した、長野開催ならではの歓迎アトラクションでした。

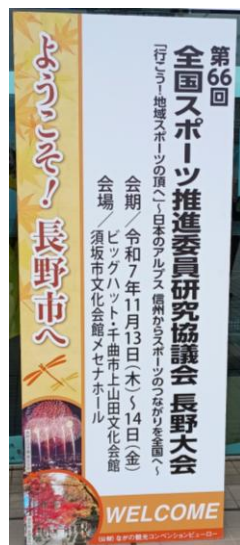
また、表彰では、府中市スポーツ推進委員会の瀬戸口会長が30年勤続スポーツ推進委員表彰を受賞されました。長年にわたる地域スポーツへの尽力が全国場で称えられたことは、委員一同にとっても大きな誇りです。

基調講演には、パリオリンピック柔道女子57kg級金メダリストの出口クリスタ選手が登壇しました。「今日を生き抜く～普通の私がカナダ初の金メダルを掴むまで～」をテーマに、柔道との出会い、子ども時代や学生時代の苦しかった経験、スランプ、カナダ代表という選択、東京五輪での挫折、そして再び世界王者となりパリ五輪で金メダルを獲得するまでの歩みが語られました。厳しい時期や思うようにいかなかった経験も率直に語られ、「努力は平気で裏切ることもある」という言葉には驚かされました。トップ選手であっても同じように悩み、迷いながら歩んできたことが伝わる講演でした。

シンポジウムでは、「地域スポーツ環境を作るために」をテーマに、令和4年に公表された第3期スポーツ基本計画について発表がありました。従来の「する・見る・支える」に加え、「つくる・はぐくむ」「誰もがアクセスできる」「あつまり、ともに、つながる」という新たな視点が示され、地域でスポーツを育み、支え合う重要性を改めて考える機会となりました。

研究協議会で得た学びを、今後の府中市におけるスポーツ推進活動に活かし、市民の皆さんとともに、より身近で参加しやすいスポーツ環境づくりを進めていきたいと思います。

(石田宜久)



令和7年度府中市福祉作業所ボッチャ大会 報告

令和7年11月17日、郷土の森総合体育館第1体育室で、令和7年度府中市福祉作業所ボッチャ大会（主催：府中市福祉作業所等連絡協議会）が開催されました。

令和元年11月に初めて開催され、コロナ禍で開催が中止となっていました。6年ぶりの開催となりました。

この大会は、福祉作業所等同士の交流を目的に開催されています。当日は、14チームの参加がありました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を機に、障がい者スポーツへの理解促進も委員会の役割となり、ボッチャをツールに理解促進を図ることとなり、ボッチャ指導や大会審判の協力を行っています。

初めてボッチャに触れるという参加者も多かったことから、ルール説明とデモンストレーションからスタートしました。

試合は、審判が参加者に声をかけながら、和やかに進行しました。

参加者の中には高度な技術を持つ方もいらっしや、見事な試合運びをする場面もありました。参加者の皆さんが、真剣にプレーに取り組む姿がとても印象的でした。

最後は表彰式で優勝チームに福祉作業所等連絡協議会が用意されたトロフィーが渡されました。

(瀬戸口幸則)



第29回 みんなのスポーツday 報告

令和7年10月13日（スポーツの日）に、地域体育館6館を会場に開催しました。



押立体育館



本宿体育館



日吉体育館



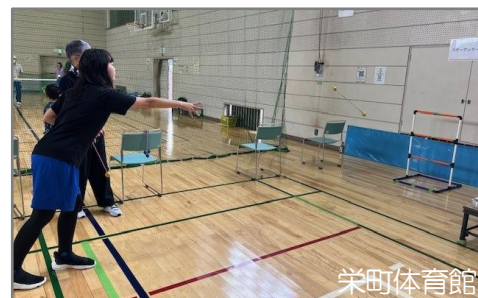
白糸台体育館



四谷体育館



四谷体育館



栄町体育館



日吉体育館

受賞報告

令和7年11月6日に、府中市から、次の委員が表彰されました。

教育功労

元山 薫 委員

令和7年11月13日に、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合から、次の委員に感謝状が贈呈されました。

30年勤続スポーツ推進委員

瀬戸口 幸則 委員

スポーツ推進委員担当地区一覧表

中央	石田 宜久	是政	中島 順子
	岸 優子		深津 康人
白糸台	井上 由佳子	住吉	佐伯 紀亜
	早川 賢一		成田 フサイ
西府	井上 恵一	紅葉丘	坂口 泰亮
	内藤 祐治		吉岡 大翼
	元山 薫	押立	植松 政数
武蔵台	小谷田 恵理		鴻巣 裕司
	峰 和男	四谷	尾碕 哲郎
新町	下島 博美		瀬戸口 幸則
	渡邊 朋子	片町	大竹 ひとみ
地区：文化センター圏域			菊池 すみ子

編集後記

地球温暖化の影響で、とても暑い夏が続きました。秋を飛び越えて暖かい冬かと思いきや、日本海側の大雪と寒い冬となりました。ご自愛ください。

令和8年もスポーツの国際大会が目白押しです。スポーツを身近に感じられる機会が多くありそうです。

ちゅうスポだより第54号をお届けします。ポッチャの話題が多くありましたが、身近に手軽に誰でもできるスポーツです。未体験の方は、ぜひトライしてみてください。(S)